

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	新規	事務事業名称	207 施設有効活用調査事業				
担当部	110000 企画開発部		課・室	110901 政策推進課	所属長名	金城 壮	

(1) 基本情報

基本目標	006 働きのつながるまち(産業)		施 策	005 観光の振興
事務事業期間	令和02年度 ～ 令和05年度		会計種別	01 一般会計
経費の性質			実施計画対象	1:対象
事業概要	実施方法	直接実施	実施根拠 (法令や条例等)	糸満市観光文化交流拠点施設条例
	目的	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を市内外に発信する「市文化・平和・観光振興センター」の整備と併せ、施設の有効活用調査を実施する。		
	対象	市民及び県内外の公共及び民間施設等		
	活動内容	「市文化・平和・観光振興センター」の整備と併せ、対象者に対しシンポジウム等を開催し、施設の有効的な活用を市民等に周知する。		
	意図(成果)	観光振興センターの有効活用調査を実施することで具体的な施設利用促進を図っていく。		

(2) コスト及び成果

	単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
有効活用に関するシンポジウム	回	市文化・平和・観光振興センターの市民周知のためのシンポジウムを開催する。コロナ禍で不開催	有効活用調査策定		市文化・平和・観光振興センターの利用促進を図るために有効活用調査を策定する。
ツーリズムEXPOジャパンに出展	回	全国規模の催しに出展し、県内外の旅行会社や市民に周知を図る			

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
有効活用に関するシンポジウム		回	計画値	0	1	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
ツーリズムEXPOジャパンに出展		回	計画値	0	1	0	0	0
			実績値	0	1	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
有効活用調査策定			計画値	0	1	0	0	0
			実績値	0	1	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥当性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 糸満市文化・平和・観光振興センターの有効活用に資するため
	②行政が関与する妥当性	○ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ○ 国、県、市の協調によるもの ● 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 施設の有効活用については、官民連携が不可欠であるため。

必要性	③市民ニーズ	● 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ○ 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ○ 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 施設の利用促進のためには、市民周知等を図る本業務が必要である。
	④現時点での優先性や緊急性	○ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ○ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ● 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ○ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 公共サービスとして施設整備の供用のみ優先しても利用促進が図れないため。

公平性	⑤受益者負担は適切か	● 広く市民を対象としていることから適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ○ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 魅力的な公共施設の整備を行うためには、市民周知を図る本業務は必要である。
-----	------------	---

効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているかどうか	○ かなり削減できている ○ ある程度削減できている ○ あまり削減できない ○ 削減できない ● 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 糸満市文化・平和・観光振興センターの有効活用を図るために必要な業務であることから、効率性の評価になじまない。
-----	------------------------------	---

有効性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	○ 目標を上回る ● 目標を概ね達成している ○ 目標をやや下回る ○ 目標を下回る ○ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 糸満市文化・平和・観光振興センターの整備についての課題解決を図るための業務である。
-----	-----------------------	---

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ● 適切 ○ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 ・適切3～4でB評価 ・適切1～2でC評価 ・全て見直しでD評価 A A 現状どおり事業を進めることが妥当 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 □ 拡大・充実 ■ 現状維持 □ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）